

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 児童発達支援センター AEC 宜野湾



○事業所名	COMPASS児童発達支援センター AEC宜野湾		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 30日	～	令和7年 11月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 20名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	7年 4月 1日	～	7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 29日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、系列事業所との連携体制があります。 各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討等も含めた多様な視点から意見を取り入れながら、計画書の作成や日々の療育へ反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループを形成しており、担当グループ主体で会議や勉強会を実施しております。 また、複数地域に事業所があるため、不明点等については指定権者へ確認をおこない、法令に沿った適切な事業所運営に努めております。	児童が楽しみながら通所でき、成長を感じながら安心して過ごせる事業所を目指し、今後も決められたルールを遵守しながら支援の充実に努めてまいります。
2	・「こどもが安心して過ごせる環境づくりが整っていること」 ・「こどもの特性を理解した専門的で丁寧な支援がおこなわれていること」 ・「家庭との連携や情報共有が円滑であること」 以上の点について高く評価をいただいております、事業所の強みであると考えております。	・こども達が安心して過ごせる環境づくりと、一人ひとりに合わせた丁寧な支援を心掛けております。 ・活動スペースの整理や安全面への配慮を徹底するとともに、こどもの特性や発達段階に応じた声かけや、スモールステップでの支援を意識しておこなっております。	現在の支援の質を維持しながら、より一人ひとりに寄り添った支援がおこなえるよう、職員間での情報共有を一層強化してまいります。 また、こどもの特性や興味に合わせた活動のバリエーションを増やし、主体的に取り組めるプログラムづくりに努めてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の相談対応や助言はおこなえているものの、「ペアレント・トレーニング」「保護者参加型プログラム」「定期的な研修」等については、センターとして十分な役割を果たせていないことが課題であると考えております。	・開所から日が浅く、日々の支援運営を優先してきたため、ご家庭や保護者様向けプログラムの企画に十分な時間を確保することができておりませんでした。 ・また、職員の人数や経験値に差があり、プログラムの企画・運営を担う担当者の育成が十分に進んでいないことも要因であると考えております。	現在、事業所全体で今年度1月実施予定の「きょうだい児交流」に向けた企画・検討を進めております。
2			
3			



公表日：令和8年5月15日